

令和6年度第2回一関市社会教育委員会議 会議録

- 1 会議名 令和6年度第2回一関市社会教育委員会議
- 2 開催日時 令和6年11月15日（金） 午後2時から午後3時まで
- 3 開催場所 一関市東山市民センター大会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 鈴木道明委員、平野和彦委員、小岩孝朗委員、館澤敏子委員、
小島正明委員、佐藤寿幸委員、小野寺美枝子委員、三浦尚博委員、
青柳さつき委員、熊谷繁弘委員、千葉喜代一委員、村上とも子委員、
吉田美和子委員、金森勝利委員、小山亜希子委員、白石理恵委員
※欠席者 菅原祝子委員、栃内宏之委員、大石敦子委員、三浦喜博委員、
 - (2) 事務局 時枝直樹教育長、小野寺愛人まちづくり推進部長、藤倉忠光一関図書館長、
佐々木修路一関市博物館次長、氏家克典教育委員会事務局副参事兼文化財課長、
伊藤信子いきがづくり課長、
佐藤康隆いきがづくり課市民センター係長・社会教育主事、
阿部彰いきがづくり課主査、千葉理央いきがづくり課主事

5 議 事

議長及び副議長の選任について

6 説 明

- (1) 令和6年度上半期社会教育関係事業実施状況について
- (2) 社会教育の必要課題に対する共通取組について

7 公開、非公開の別 公開

8 傍聴者の数 1名

9 教育長挨拶

委員の皆様におかれましてはお忙しいところ、第2回一関市社会教育委員会議にご出席いただきましてありがとうございます。

日中は比較的暖かい日が続いておりますが、朝晩かなり冷え込みを感じて、季節は秋が深まっているなど思っております。

秋といえば文化の秋ということになりますが、市内の小中学校では10月に学習発表会、文化祭が行われ、子どもたちは非常に一生懸命で、学校の指導のおかげで頑張っ充実して行事を迎えたということ聞いております。

また、11月には市内の小中学生の児童生徒音楽発表会も行われました。昨年まではコロナの関係で保護者の方は児童生徒に対して1名というところでしたが、今年は制限が

なく非常に多くの保護者の方も子どもたちの頑張っている姿を見ていただいて良かったなと思っています。

一関市の文化祭のイベントも9月から継続的に様々な団体が行っておりますが、私もいくつかのイベントに呼ばれているわけですが、常に駐車場が満車になるぐらい非常に盛り上がっていて、それを見るにつけてこの社会教育行政の方針である、社会教育と学習環境の充実という点で、市民が生涯を通じて学べる多様な学習機会を提供し、学んだ成果を地域づくりに活かしていく生涯学習の促進の取組や、学びと地域づくりを一体化し、地域協働のまちづくりの環境の充実を図っていくというようなことが、着実に進んでいるということを感じながら、この11月までを過ごしております。

さて、本日の会議は、令和6年度の上半期の社会教育関係事業の実施状況についてと、もう一つは、社会教育の必要課題に対する共通取組についての協議事項となります。

この共通取組については、今年度から男女共同参画「誰もが個性を尊重し、能力を認め合う多様性への理解の促進」ということで取り組んでおりますが、男女共同参画という言葉を見たときに、小中学校でいえば、学校の名簿というのは、従来ですと男子の名簿が先にあって、その次に女子の名簿があって、男女分けて行う指導というのはたくさんありますが、例えば入学式の名簿などは男女に分ける必然がありませんので、これは男女混合にしているところが多いのはそういう表れかなと思っています。

また、これは高校などに多いですが、自分の判断で、スラックスズボン型の制服かスカートの制服か自由に選べる学校も出てきています。

今、子どもたちのことを話しましたが、教職員で言えば、学校で課題になっているのは小中学校の管理職の副校長、校長というのはどうしても男性が多いわけですが、これは女性も増やしていかなければいけないということで、県の方では女性管理職の割合について指標を作って、女性管理職を増やしていこうとしていますし、また、男性職員は、一般的に育児休業を取得する方が非常に少ないということですが、警察などは90%以上の方が取っていらっしゃるそうです。県立高校も非常に多いですが、小中学校は少なく、これは小中学校の場合は、担任外の方がなかなかいないので、その人的な環境を整えないと難しいのかなと思っていますが、男女共同参画といったところでも様々なことを感じるところがありますので、まさに現代的な課題なのかなと思っています。

本日は、会議の後に石と賢治のミュージアムの施設見学も予定しております。短時間の見学になると思いますが、この機会に理解を深めていただきたいと思います。

本日は協議と見学と盛りだくさんの内容になりますがどうぞよろしく願いいたします。

10 審議内容

(1) 令和6年度上半期社会教育関係事業実施状況について

資料No.1に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 私は婦人会でもあるので、千厩町婦人協議会で男女参画サポーターを増やす取組を進めてきて、私もサポーターとしてかなりの年数を活動してきたが、市で取り上げていただく前までは、男女共同参画という言葉が出ると何となく引いてしまう方が多かった。今年は、市に男女共同参画について取り上げていただいたおかげで、身体的に障がいのある方を理解しようと、男女共同参画についての講座を千厩市民センターに申し入れて実現した。参加した方々から、このような会を開催していただいて良かったという話をいただき、重点に入れていただいた御礼を申し上げたいと思い、話をした。

委員 資料2ページの18番と22番に付随して、質の高い社会教育事業を市民に提供する意味で、本当に良い事業に取り組んでいると思う。22番の社会教育主事講習について、今年度も3人受けている。今までの累計で何名あるいは何施設の市民センターの職員が受講しているかを聞きたい。

もう一点、先ほど言ったように、質の高い社会教育事業を市民に提供するのが、市民センター職員の役割であると考えの意味で、今後もこのような各種研修会あるいは社会教育主事講習への受講の推進のような考えがあるかを聞きたい。

事務局 まず、社会教育主事講習の受講の実績について、これまで6つの市民センターで7人の職員が社会教育主事講習を受講修了し、社会教育士として活躍している。この社会教育士は、地域で活躍するのはもちろん、市民センターを指定管理している地域協働体職員の初任者研修の際には、社会教育の部分の研修の手伝いをしている。

また、今後の社会教育主事講習について、基本的に各市民センターで少なくとも1人ずつくらい社会教育士になっていただきたいと考えている。ただ、オンラインでも受講できるが、講習の受講期間が約20日間であり、オンラインではない場合、花巻市や北東北3県の研修会場に行かなければいけないため、仕事をしながら受講するのは少しハードルが高いという話も聞いている。市でも講習の受講に係る経費の支援や地域協働体の職員が受講している間の臨時職員を雇用する経費に対しての支援も行っているため、市民センター職員の社会教育主事講習の受講を進めていきたいと考えている。

事務局 まちづくり推進部がこの社会教育関係を担当しているので、2点目の質問に

ついて回答する。

今の市の社会教育士について、各市民センターにそれぞれ1人ずつ居てほしいと考えている。今の市の総合計画の実施計画においては年間3人の配置を必要としており、全施設に配置できるだけの社会教育士を確保できていないが、引き続き各市民センターに配置を目指していきたい。こちらについては毎年3人の受講と目標を立てており、その予算を確保している。特に、新型コロナウイルス感染症により研修に行く機会が取れなかった人が、今年も3人受講しており、今後も徐々に増えていくだろうと思っている。

今は、市民センターになる前の各公民館が実施してきた社会教育の事業を継続しているところが多いが、それぞれの市民センターに社会教育士が配置になれば、その地域に合った考え方が展開できると思うので、先行して配置されている社会教育士がいる市民センターについては、そのような先導的な取組を行っていただき、他の地域を引っ張っていただきたいという考えで進めている。

(2) 社会教育の必要課題に対する共通取組について

資料No.2に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

11 その他

委員 最近、フリースクールについてのご質問をいただくことがあった。

花泉のフリースクールの立ち位置や教育委員会との関わりなどについて、できる範囲で構わないので説明してもらえると、大いに参考になると思うので、よろしくお願ひしたい。

教育長 フリースクールというのは、旧花泉小学校の跡地にある虹の学園を指していると思うが、不登校の指導改善のために、教育委員会としては非常に有益な施設と捉え、連携している。具体的な連携というのは、フリースクール虹の学園に入っているお子さんがどのような活動をしているのかを、虹の学園と所属の学校とで情報交換をしっかりと行われているかを見ることである。最終的には、学校長の判断となるが、虹の学園で活動している子どもたちについては、教育委員会としては出席扱いにして良いという助言をしている。これについては、教育委員会の方で定期的に虹の学園に行き、その活動内容や学習内容が授業に値するかしないかを判断している。フリースクールへの支援について、財政的な支援は旧花泉小学校の校舎校庭を無償貸与することである。虹の学園を設置している理事の方が公立中学校の元教員だったので、教育委員会との連携についてはうまくいっている。

12 担当 まちづくり推進部いきがづくり課